

2022年12月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕（連結）



2022年5月13日

上場会社名 株式会社ツバキ・ナカシマ 上場取引所 東
 コード番号 6464 URL <https://www.tsubaki-nakashima.com/jp/>
 代表者（役職名） 取締役兼代表執行役社長CEO（氏名） 廣田 浩治
 問合せ先責任者（役職名） 取締役兼執行役副社長CFO（氏名） 館 尚嗣 (TEL) 06-6224-0193
 四半期報告書提出予定日 2022年5月13日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満四捨五入)

1. 2022年12月期第1四半期の連結業績（2022年1月1日～2022年3月31日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第1四半期	18,627	10.3	1,525	△14.8	1,438	△18.8	1,046	△21.2	1,045	△21.3	5,534	14.9
2021年12月期第1四半期	16,892	18.7	1,792	80.8	1,772	89.6	1,327	92.1	1,327	92.0	4,815	—

	基本的1株当たり四半期利益	希薄化後1株当たり四半期利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第1四半期	25.76	25.71
2021年12月期第1四半期	33.11	32.96

(参考) EBITDA 2022年12月期第1四半期 2,406百万円 (8.2%減) 2021年12月期第1四半期 2,620百万円
 EBITDA=営業利益+減価償却費及び償却費

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に帰属する持分	親会社所有者帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2022年12月期第1四半期	156,200	58,313	58,277	37.3
2021年12月期	157,174	53,369	53,335	33.9

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	28.00	—	16.00	44.0
2022年12月期	—				
2022年12月期(予想)					30.0

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2022年12月期の連結業績予想（2022年1月1日～2022年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に帰属する当期利益		基本的1株当たり当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	77,000	13.4	5,650	△2.9	4,555	△9.0	2,432	△31.6	59.75

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 一 、除外 一社(社名) 一

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

会計方針の変更に関する注記

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数(四半期累計)

2022年12月期1Q	41,581,800株	2021年12月期	41,571,500株
2022年12月期1Q	1,019,286株	2021年12月期	1,019,286株
2022年12月期1Q	40,561,255株	2021年12月期1Q	40,092,138株

発行済株式数に関する注記

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更	4
3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結包括利益計算書	6
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経営環境は、米国・欧州各国ならびに日本において新型コロナウイルス感染症との共存による経済活動が進む一方、ゼロコロナ政策に伴う上海等主要都市でのロックダウン影響等による中国経済の減速が懸念されております。加えて、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化によるエネルギー・原材料の逼迫・高騰など、先行き不透明な状況が継続しております。

このような状況のなか、当第1四半期連結累計期間の売上収益は、成長戦略であるセラミックボールの需要やアジア地域でのスチールボールの需要が継続して拡大したことが寄与し、原材料価格上昇分の販売価格への転嫁等の取り組みと相俟って、前年同四半期比10.3%増の18,627百万円となりました。利益面につきましては、売上増に伴う利益増や、コスト改善の取り組みが効果を上げた一方で、世界的かつ急激なエネルギー・原材料価格高騰の影響を受け、営業利益は、前年同四半期比14.8%減の1,525百万円となりました。親会社の所有者に帰属する四半期利益は前年同四半期比21.3%減の1,045百万円であります。

2021年度から開始した2023年度までの中期経営戦略を遂行し、業績回復するべく事業を行ない、株主様・お客様・お取引先そしてグループ従業員に対し、よりよい企業価値の提供を行ってまいります。

セグメント業績は次のとおりであります。

プレジジョン・コンポーネントビジネス

プレジジョン・コンポーネントビジネスの売上収益は、セラミックボールの需要やアジア地域でのスチールボールの需要が継続して拡大したこと等により、前年同四半期比9.8%増の17,367百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、世界的エネルギー価格の高騰の影響をうけ、前年同四半期比10.0%減の1,503百万円となりました。

リアビジネス

リアビジネスの売上収益は、工作機械の需要が堅調に推移したことにより、前年同四半期比16.9%増の1,260百万円となりました。セグメント利益（営業利益）は、プロダクトミックス等の影響により、前年同四半期比84.8%減の17百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べ974百万円減少し156,200百万円となりました。これは、主に円安の影響により、営業債権及びその他の債権が2,259百万円、たな卸資産が2,601百万円増加した一方、借入金9,030百万円の返済により現金及び現金同等物が9,943百万円減少したため、流動資産が4,694百万円減少したことによります。また、主に円安の影響により、有形固定資産が1,349百万円、無形資産及びのれんが1,272百万円、その他の非流動資産が1,279百万円増加したため、非流動資産が3,720百万円増加したことによります。

負債につきましては、前期末に比べ5,918百万円減少し97,887百万円となりました。これは主に、短期借入金が9,030百万円減少した一方、営業債務及びその他の債務が1,801百万円、社債及び借入金ドル建て長期借入金の円安の影響で1,376百万円増加したことによります。

資本は前期末に比べ4,945百万円増加し58,313百万円となりました。これは主に、為替換算調整勘定などのその他の資本の構成要素が4,487百万円、利益剰余金が394百万円増加したことによります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第1四半期連結累計期間の各活動におけるキャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フローは、206百万円の減少となりました。主な要因として、税引前四半期利益1,438百万円、減価償却費及び償却費881百万円などの資金の増加要因があった一方で、販売増に伴う営業債権及びその他の債権の増加1,473百万円、第2四半期の拡販に向けてのたな卸資産の増加1,345百万円などの資金の減少要因がありました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、固定資産の取得による支出を主な要因とし、646百万円の減少となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済による支出9,030百万円を主な要因とし、9,694百万円の減少となりました。

これらに当第1四半期連結累計期間中のUSドル高及びユーロ高を主な要因とする、603百万円の換算差額等を加算した結果、当第1四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物は、22,581百万円と前連結会計年度末と比べ9,943百万円の減少となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期の連結業績予想につきましては、2022年2月15日に公表いたしました業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

該当事項はありません。

3. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2022年 3月31日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	32,524	22,581
営業債権及びその他の債権	15,096	17,355
たな卸資産	28,021	30,622
その他の流動資産	1,389	1,778
流動資産合計	77,030	72,336
非流動資産		
有形固定資産	32,370	33,719
無形資産及びのれん	46,878	48,150
その他の投資	293	236
繰延税金資産	480	357
その他の非流動資産	123	1,402
非流動資産合計	80,144	83,864
資産合計	157,174	156,200
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	6,551	8,352
借入金	12,030	3,000
未払法人所得税等	1,365	1,219
その他の流動負債	4,864	5,217
流動負債合計	24,810	17,788
非流動負債		
社債及び借入金	71,958	73,334
退職給付に係る負債	2,507	2,495
繰延税金負債	2,172	2,076
その他の非流動負債	2,358	2,194
非流動負債合計	78,995	80,099
負債合計	103,805	97,887
資本		
資本金	17,102	17,108
資本剰余金	11,415	11,454
自己株式	△1,648	△1,632
その他の資本の構成要素	△1,378	3,109
利益剰余金	27,844	28,238
親会社の所有者に帰属する持分	53,335	58,277
非支配持分	34	36
資本合計	53,369	58,313
負債及び資本合計	157,174	156,200

(2) 要約四半期連結包括利益計算書

第1四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 1月 1日 至 2021年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 1月 1日 至 2022年 3月31日)
売上収益	16,892	18,627
売上原価	13,422	15,178
売上総利益	3,470	3,449
販売費及び一般管理費	1,745	1,942
その他の収益	68	19
その他の費用	1	1
営業利益	1,792	1,525
金融収益	285	231
金融費用	305	318
税引前四半期利益	1,772	1,438
法人所得税費用	445	392
四半期利益	1,327	1,046
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	1,327	1,045
非支配持分	0	1
四半期利益	1,327	1,046
その他の包括利益		
純損益に振り替えられない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	4	△37
純損益に振り替えられない項目の合計	4	△37
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の為替換算差額	3,415	4,413
キャッシュ・フロー・ヘッジ	74	84
ヘッジコスト	△5	28
純損益に振り替えられる可能性のある項 目の合計	3,484	4,525
税引後その他の包括利益	3,488	4,488
四半期包括利益	4,815	5,534
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	4,814	5,532
非支配持分	1	2
四半期包括利益	4,815	5,534
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益(円)	33.11	25.76
希薄化後1株当たり四半期利益(円)	32.96	25.71

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

(単位：百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分						
	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2021年1月1日 残高	16,843	11,010	△1,651	0	60	△6,872	△949
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	4	3,414	74
四半期包括利益	—	—	—	—	4	3,414	74
株式の発行	46	46	—	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	△0	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	46	46	△0	△0	—	—	—
2021年3月31日 残高	16,889	11,056	△1,651	0	64	△3,458	△875

	親会社の所有者に帰属する持分					
	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計				
2021年1月1日 残高	295	△7,466	25,947	44,683	29	44,712
四半期利益	—	—	1,327	1,327	0	1,327
その他の包括利益	△5	3,487	—	3,487	1	3,488
四半期包括利益	△5	3,487	1,327	4,814	1	4,815
株式の発行	—	△0	—	92	—	92
剰余金の配当	—	—	△560	△560	—	△560
自己株式の取得	—	—	—	△0	—	△0
自己株式の処分	—	—	—	—	—	—
株式報酬取引	—	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	—	△0	△560	△468	—	△468
2021年3月31日 残高	290	△3,979	26,714	49,029	30	49,059

(単位：百万円)

親会社の所有者に帰属する持分

	資本金	資本剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素			
				新株予約権	その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	在外営業活動体の為替換算差額	キャッシュ・フロー・ヘッジ
2022年1月1日 残高	17,102	11,415	△1,648	0	54	△1,021	△724
四半期利益	—	—	—	—	—	—	—
その他の包括利益	—	—	—	—	△37	4,412	84
四半期包括利益	—	—	—	—	△37	4,412	84
株式の発行	6	6	—	△0	—	—	—
剰余金の配当	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	16	—	—	—	—
株式報酬取引	—	33	—	—	—	—	—
所有者との取引額等合計	6	39	16	△0	—	—	—
2022年3月31日 残高	17,108	11,454	△1,632	0	17	3,391	△640

親会社の所有者に帰属する持分

	その他の資本の構成要素		利益剰余金	合計	非支配持分	資本合計
	ヘッジコスト	合計				
2022年1月1日 残高	313	△1,378	27,844	53,335	34	53,369
四半期利益	—	—	1,045	1,045	1	1,046
その他の包括利益	28	4,487	—	4,487	1	4,488
四半期包括利益	28	4,487	1,045	5,532	2	5,534
株式の発行	—	△0	—	12	—	12
剰余金の配当	—	—	△651	△651	—	△651
自己株式の取得	—	—	—	—	—	—
自己株式の処分	—	—	—	16	—	16
株式報酬取引	—	—	—	33	—	33
所有者との取引額等合計	—	△0	△651	△590	—	△590
2022年3月31日 残高	341	3,109	28,238	58,277	36	58,313

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2021年 1月 1日 至 2021年 3月31日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2022年 1月 1日 至 2022年 3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,772	1,438
減価償却費及び償却費	829	881
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△50	△38
受取利息及び受取配当金	△4	△19
支払利息	192	303
為替差損益(△は益)	△245	△223
固定資産売却損益(△は益)	△49	△2
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△1,588	△1,473
たな卸資産の増減額(△は増加)	230	△1,345
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	1,172	1,344
その他	244	△250
小計	2,503	616
利息の受取額	4	23
配当金の受取額	0	0
利息の支払額	△124	△166
法人所得税等の支払額	△334	△679
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,049	△206
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△250	△623
有形固定資産の売却による収入	63	2
無形資産の取得による支出	△48	△25
その他	1	△0
投資活動によるキャッシュ・フロー	△234	△646
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,000	—
長期借入れによる収入	6,000	—
長期借入金の返済による支出	△8,563	△9,030
リース負債の返済による支出	△75	△74
新株予約権の行使による収入	93	12
配当金の支払額	△561	△607
自己株式の売却による収入	—	5
自己株式の取得による支出	△0	—
財務活動によるキャッシュ・フロー	△106	△9,694
現金及び現金同等物に係る換算差額	409	603
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	2,118	△9,943
現金及び現金同等物の期首残高	14,987	32,524
現金及び現金同等物の四半期末残高	17,105	22,581

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

1 報告セグメントの概要

(1) セグメント区分の基礎

当社グループは事業を基礎とした製品・サービス別セグメントから構成されており、「プレジジョン・コンポーネントビジネス」及び「リニアビジネス」の2つを報告セグメントとしております。

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、最高経営責任者が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

「プレジジョン・コンポーネントビジネス」は、精密ボール、ローラー、リテーナー及びシートメタル部品の製造販売を行っております。「リニアビジネス」は、ボールねじ及び送風機を製造販売しております。

セグメント情報は要約四半期連結財務諸表と同一の会計方針に基づき作成しております。各セグメントの営業利益は税引前四半期利益に金融収益及び金融費用を加減しており、要約四半期連結包括利益計算書における営業利益と同一の方法で測定されています。

セグメント間の取引の価格は、独立第三者間取引における価格で決定されております。

なお、「その他」は、当期より報告セグメントに含んでおりません。

(2) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2021年1月1日 至 2021年3月31日）

(単位：百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	15,814	1,078	0	16,892	—	16,892
セグメント間収益	2	—	7	9	△9	—
連結収益合計	15,816	1,078	7	16,901	△9	16,892
セグメント利益	1,670	115	7	1,792	0	1,792
				金融収益		285
				金融費用		△305
				税引前四半期利益		1,772

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。

当第1四半期連結累計期間(自 2022年1月1日 至 2022年3月31日)

(単位:百万円)

	報告セグメント		その他	合計	調整額	要約四半期 連結財務諸表
	プレジジョン・ コンポーネント ビジネス	リニア ビジネス				
売上収益						
外部収益	17,367	1,260	0	18,627	—	18,627
セグメント間収益	2	—	7	9	△9	—
連結収益合計	17,369	1,260	7	18,636	△9	18,627
セグメント利益	1,503	17	5	1,525	0	1,525
				金融収益		231
				金融費用		△318
				税引前四半期利益		1,438

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産の賃貸料が含まれております。また、セグメント利益の調整額には、セグメント間取引の消去等が含まれております。